

## 第6回懇談会における意見一覧

## 資料1

No.	会議体	主な分野・該当箇所	発言者	ご意見・お考え（次期計画への検討事項）
1	第6回懇談会	重点テーマ②及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	「つながりづくり」は、住民間のつながりに留まらず、団体間や経済でのつながりをも想定している。この点について、少し違和感がある。
2	第6回懇談会	重点テーマ②及び取組方針	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	南大沢地区の地域づくり推進会議では、参加者の中から、「何のために話し合いをしているかわからない」「市が決めたルールに乗っているように感じる」という声も上がっている。流山市ではキャッチフレーズを用いて子育てのしやすさをアピールしているが、八王子市でも今後何か魅力を発信する取組はされるのか。
3	第6回懇談会	重点テーマ②及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	やむを得ないこともかもしれないが、「市が決めたルールに乗っている」ように感じている住民は多いのではないかと。今回の長期ビジョン策定を通じて、市民と市役所が一体となって、何か新しいものを生み出していく契機になればよい。
4	第6回懇談会	重点テーマ②及び取組方針	明星大学教授 河合美香 氏	取組方針イについて、前半は文化や地域づくりを図るとされているが、後半は観光まちづくりにつながっている。「文化」と「観光」は異なるが、双方を指しているのか。八王子市は今後、「観光」をキャッチとして取り上げられるのか。そうであれば、より強調する必要がある。
5	第6回懇談会	重点テーマ②及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	（取組方針イは、）1文で書かれているが、前半の「日本遺産をきっかけとして、桑都文化を磨き上げ」で1文、以降の後半で1文と、2文に分けた方がよいのではないかと。
6	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	八王子市町会自治会連合会副会長 尾寄敏夫 氏	取組方針アについて、「自助・互助・共助の連携強化を図る」とあるが、なぜ「公助」が入っていないのか。「自助・互助・共助の連携強化」の文章のみを見ると「公助」が抜けているという意見に捉えられやすいと考える。
7	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	八王子市町会自治会連合会副会長 尾寄敏夫 氏	「自然を活用した強靱なまちづくり」は、言葉足らずな印象を受けた。
8	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	護岸や山林の治水効果の話があったが、使い続けるためには手を入れる必要がある。文脈が少しずれている印象を受ける。
9	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	「自助・互助・共助及び公助の連携強化」のように、「公助」は明示した方がよい。
10	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	「自然を活用した強靱なまちづくり」についても人によっては理解が難しいのではないかと考える。
11	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	八王子商工会議所常議員 加藤正道 氏	防災意識向上のためには、町会単位で開催していた従来の一般的な出前講座ではなく、今後は、乳幼児やペットがいる家庭など、エリアを拡大した上でターゲットを絞って、災害時の行政の取組、家庭でできる備えなどについて紹介する講座を開催するのはどうか。疑問を解消したいというニーズは高いと考える。
12	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	乳幼児やペットのみならず、高齢者や外国人などは災害弱者と言える。
13	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	地域の人や企業、学校で連携して防災訓練等を実施した場合に補助金が出るようにしていただきたい。
14	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	外国人防災リーダーを養成する講座を実施いただきたい。
15	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	防災士の資格取得時に補助金を出している自治体もあるので、八王子市もぜひ検討をお願いしたい。
16	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	東京都立大学教授 市古太郎 氏	取組方針アについて、尾寄氏が仰った「自助・互助・共助の連携強化」に関する話は大賛成であり、このままでは間違ったメッセージを発信してしまうのではないかと。 「自助・互助・共助」を外して、「家庭と地域の防災力強化を図る」とした方がまだ適切である。
17	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	東京都立大学教授 市古太郎 氏	「自然」に関する話についても、事務局が仰っていたのは、グリーンインフラ含め「技術」の話であり、「先端技術」に含まれるということに過ぎないのではないかと。
18	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	東京都立大学教授 市古太郎 氏	「強靱な」という言葉もここで使ってもよいか疑問である。単に「強い」という印象を言葉からは受ける。粘り強さというニュアンスから、「靱性のある」の方がより適切ではないかと。「レジリエンス」により近い印象もある。
19	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	八王子商工会議所常議員 加藤正道 氏	「既存産業への支援」については、技術力を生かした製品開発による差別化に向けた支援等、ニーズに対応した形で進めていくべきである。
20	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	八王子商工会議所常議員 加藤正道 氏	「新産業分野の事業創出」については、八王子市は交通の要衝であることから、物流拠点の誘致が重要と考えており、促進施策を考えていただければと思う。
21	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	東京都立大学教授 市古太郎 氏	取組方針アの「自助・互助・共助の連携強化」について、連携強化の具体案が示されていれば合致すると考える。
22	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	東京都立大学教授 市古太郎 氏	災害時における外国人との連携の話があった。それは言い方を換えれば子育てや活動や地域福祉の日常的な活動等が災害時においても緊密な関係を持つていけると言える。日常的な活動と地域防災の取組に関する連携を市としてサポートすることであれば理解できる。
23	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	みなみ野小中学校学校運営協議会代表 荒井嘉夫 氏	「未来を拓く原動力」や「変革のキーワード」では、新たな取組をしていくといったように記載のトーンが高い印象を受ける。一方、重点テーマ①～③は、既存の言葉や価値観の枠組みにとらわれており、未来の突破口が見えてこない。思いが不完全燃焼しているのではないかと。
24	第6回懇談会	重点テーマ①②③及び取組方針	法政大学教授 淵元初姫 氏	桑都文化をはじめ、様々なコンテンツが八王子市にあることが分かった。それらを通じて誰がどのように盛り上げていくか、また着地点もある程度分かったが、どこでやるのか、場所のイメージが湧かないと感じた。突破口を見出すにはみんなが集まれる場所と、ある程度の活動の蓄積が必要であると考えている。「こういった場所で、こんな活動をします」といったイメージがあるとよい。
25	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	東京都立大学准教授 杉原陽子 氏	防災、産業、環境の3つには賛成であるが、「交通」は必要か。2040年に向けた課題は様々な山積する中で、より精査した方がよい。例えば、2040年は後期高齢者人口が最大となる見込みである。福祉産業では、介護人材をどのように獲得するかが大きな課題である。未来志向の計画であり、あるべき未来を論じるという考え方は重要であるが、2040年に向けて解決すべき課題もあるため、取組方針に少しでも落とし込む必要があるのではないかと。
26	第6回懇談会	重点テーマ②及び取組方針	東京都立大学准教授 杉原陽子 氏	重点テーマ②の取組方針アについて、「地域が主体的に支えあえる」とあるが、主語が「地域住民」では意味合いが異なるのか。地域で活動する団体の構成員も地域住民である。曖昧な「地域」という言葉を用いることで、やりたいことが見えない。これからは、住民に責任を転嫁しているようにも受け取れるので、例えば、「地域住民が相互に支えあえる『地域づくり』を支援します」としてはどうか。
27	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	八王子商工会議所常議員 加藤正道 氏	（ウォーカブルが、）「歩きたくなるまち」ということであれば、広場等の目的地の整備のみならず、そういった街並みの再生を図ることも重要と考える。
28	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	八王子商工会議所常議員 加藤正道 氏	空き家対策も兼ねて、古民家の再生利用の支援制度や税制優遇を検討いただきたい。
29	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	「ウォーカブル」はこの項目に合致しないと考える。事務局が意図している英語の意味はないため、別の表現で代替すべきである。
30	第6回懇談会	重点テーマ②及び取組方針	明星大学教授 河合美香 氏	重点テーマ②は、「桑都文化」や「産学官民連携」等で八王子らしさが表現されている一方、重点テーマ③の取組方針は、例えば近隣市が言っていたとしても違和感がなく、八王子らしさが表現されていない。八王子ならではの強みを盛り込む内容にできないか。
31	第6回懇談会	重点テーマ②及び取組方針	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	「あなたのみちを、あるけるまち。八王子」というメッセージは、よく目にしている。市民も外から来る人も、歩きたくなるような街を目指すとするが、「具体的にこんなイメージを考えている。市民や企業、学校、みんなで協力しましょう！実現のための支援は惜しみません。」という、市からの強いメッセージが欲しい。
32	第6回懇談会	重点テーマ②及び取組方針	八王子にほんごの会役員 宮武茜 氏	桑都文化を感じられるよう、小学生が蚕を育てて作った作品を活用する。統一感のある街並みにする。のこぎり屋根の織物工場なども、壊さずに移転するなど、市全体が共通のイメージをもって街づくりをすることが必要ではないかと。
33	第6回懇談会	重点テーマ③及び取組方針	東京都立大学教授 市古太郎 氏	重点テーマ③の「テーマに込めた思い」で「一方で、東日本大震災を」とあるが、研究室で地域の方のお話を聞く限り、「令和元年台風19号」が防災意識の高まりの契機となっている印象がある。これがそのまま文章として残るのであれば、「令和元年台風19号」に言及する方がよりリアリティがあるので、付け加えていただきたい。
34	第6回懇談会	重点テーマ②及び取組方針	八王子商工会議所常議員 加藤正道 氏	重点テーマ②の取組方針イで「豊富な資源を活用した地域主体の観光まちづくり」とあるが、八王子市は山を抜きに、観光客に訴えることができないのではないかと。以前も発言したが、高尾山が一般的な観光で終わらせていることが勿体ない。これからは、行政がバックアップして登山のための観光コンテンツや体験型ツアーを開発して裾野を広げ、プラスアルファの集客、交流人口の拡大を目指していければよい。また、高尾駅北口の観光のイメージを高めたい。
35	第6回懇談会アンケート	重点テーマ②及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	△は挿入部、(xx xx)は削除部。以下同様。 ここで伝えたい「つながり」の内容を明確にするために、以下のように訂正を提案。 【提案】多様かつ複合化した地域課題の解決に向け、<自助・互助・共助の連携を強化し>、それにより (xx市民力・地域力をもとにしてxx)、地域が主体的に支えあえる「地域づくり」を推進します。
36	第6回懇談会アンケート	重点テーマ②及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	「日本遺産をきっかけとして、桑都文化を磨き上げ」は、目標とする都市のイメージであるため、重点テーマ3「未来に続く都市づくり」の内容。ここでは「つながり」の内容を明確にするために、以下のように訂正を提案。 【提案】(xx日本遺産をきっかけとして、桑都文化を磨き上げxx)地域活動や地域の産業・経済の活性化を図るほか、豊富な資源を活用した地域主体の観光まちづくりを<実現するような地域住民や産学官の連携強化を> 推進します。
37	第6回懇談会アンケート	重点テーマ②及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	ここでも「つながり」の内容を明確にするために、述語の中に「つながり」の内容を明示するように訂正を提案。 【提案】「豊かな産業資源の優位性や学園都市としての知の集積を活かし、(xx産学官民連携でxx)革新的なイノベーションによる価値創造 <が可能になるような産学連携> を目指します。
38	第6回懇談会アンケート	重点テーマ③及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	「未来に続く都市づくり」で八王子らしさを強調する文章として、まず、以下の目標をAとして挿入することを提案。 【提案】「A 八王子が誇る日本遺産である桑都文化をさらに磨き上げ、八王子の文化の礎とします。」 その上で、「自助・互助・共助」は「つながり」の内容そのものなので、重点テーマ②に移し、ここからは削除し、以下のように「災害につよまちづくり」をイとして協働することを提案。 【提案】(xx自助・互助・共助の連携強化を図るとともに、xx) イ 自然と先端技術を活用し、災害の脅威から市民の命を守る強靱なまちづくりを推進します。
39	第6回懇談会アンケート	重点テーマ③及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	文章が長く、文章間の関係が弱く、また、英語として疑問のある表現(ウォーカブル、walkableは、歩くことができる、という意味であって、これ一語で、「気がつく」と自然と歩いてしまう、散策を楽しむ)という意味にはとりにくい)がみられるため、以下のような修正をウとして提案。 【提案】ウ にぎわいと活力を生み出すため、新産業分野の事業創出や既存産業への支援を行う行い<ます。また、> 豊富な資源を活用した地域主体の観光まちづくりを推進 <するとともに>(xxします。行うほかxx)、公共交通 (xxの充実xx) <を充実し、歩くことが楽しくなるような> (xxとともにウォーカブルなxx) まちづくりを推進します。
40	第6回懇談会アンケート	重点テーマ③及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	最初に「A 八王子が誇る日本遺産である桑都文化をさらに磨き上げ、八王子の文化の礎とします。」を挿入するため、これは「取り組み方針 E」とする。むりに平仄をそろえ、三つの取り組み方針にこだわらなくてもよいのではないかと。
41	第6回懇談会アンケート	重点テーマ②③及び取組方針	拓殖大学教授 新田目夏実 氏	重点テーマ②と③は、趣旨はよくわかるが、表現の重なりが多く、本当に訴えたいことが伝わらなくなっている。②は「つながり・連携」、③は「実現したいイメージ」という観点から整理したほうが良いと思う。また、「八王子らしさ」を伝えることを大事にした方がよいように思う。